

## 麻しん（はしか）の患者の発生について

相模原市在住の20歳代の女性が、令和7年6月12日に麻しんと診断され、市内医療機関から市保健所に麻しんの発生届がありました。

当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻しんを感染させる可能性がある期間（感染可能期間）に、公共交通機関を利用していたことが判明しましたので、お知らせします。

### 1 感染可能期間内に患者が利用した交通機関

令和7年6月10日（火）

小田急線 小田急相模原駅（12時20分頃）→海老名駅（12時30分頃）

相鉄線 海老名駅（12時40分頃）→星川駅（13時10分頃）

相鉄線 星川駅（22時30分頃）→海老名駅（22時50分頃）

小田急線 海老名駅（23時頃）→小田急相模原駅（23時10分頃）

※鉄道会社等へのお問い合わせは、御遠慮くださいますようお願いいたします。

### 2 患者の概要

20歳代 女性 麻しん予防接種歴あり 麻しん患者との接触歴あり

### 3 経過

令和7年5月30日（金）職場で麻しん患者との接触あり

6月11日（水）発熱あり、市内医療機関を受診

6月12日（木）検査にて診断確定

### 4 麻しんの発生動向について（本件含まず） ※1

|      | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 | 令和7年  |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 相模原市 | 4    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     |
| 全国   | 744  | 10   | 6    | 6    | 28   | 45   | 129※2 |

※1 接触者が特定できており、不特定多数が感染する可能性が低いいため、個別の発表をしていない事例も含まれます。

※2 令和7年6月1日時点の暫定値（国立健康危機管理研究機構）

**【市民の皆様へ（注意喚起）】**

- ・発熱、発疹等の症状から麻しんを疑う症状（別紙）が現れた場合は、事前に医療機関に電話連絡の上、指示に従い受診してください。また、移動の際は、周囲への感染を拡げないように、公共交通機関等の利用を避けてください。
- ・麻しん風しん混合ワクチン(MR ワクチン)の定期接種(1歳と小学校入学前)がお済みでない人は、接種を検討してください。
- ・御心配なこと等がありましたら、市保健所へ御連絡ください。

**【医療機関の皆様へ】**

- ・麻しんを疑う患者を診察する際は、院内感染対策を実施いただくとともに、予防接種歴や渡航歴の確認等をお願いします。
- ・臨床症状等から麻しんと診断した場合は、速やかに市保健所へ御連絡ください。

※報道機関各位におかれましては、プライバシー保護等の観点から、患者及び患者家族等が特定されないことがないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

|                                              |
|----------------------------------------------|
| 問い合わせ先<br>健康福祉局保健衛生部疾病対策課<br>電話 042-769-7201 |
|----------------------------------------------|

# 麻しん(はしか)に注意しましょう！！

麻しんとは？

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、空気感染、飛沫感染、接触感染により、人から人に感染が伝播します。その感染力は非常に強いと言われており、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)の五類(全数届出)感染症に位置づけられています。

◇症状

感染すると約10～12日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が2～4日続き、咳、鼻水といった風邪のような症状が出ます。

その後、少し体温が下がり、再び高熱(多くは39℃以上)が出るとともに、発疹が出現します。発疹出現後3～4日間で解熱し症状は軽快、合併症のない限り7～10日後には症状が回復します。

◇感染経路

空気感染、飛沫感染、接触感染

◇麻しんの症状が出たら、電話をしてから医療機関を受診しましょう。

医療機関を受診の際には、事前に連絡を入れ、マスク着用のうえ受診してください。また、公共交通機関の利用は控えてください。

◇麻しんと診断されたらすぐ連絡しましょう。

医療機関等で麻しんと診断された場合は、学校や幼稚園、保育所、職場等に速やかに連絡し、医療機関の指示のとおり自宅で療養してください。

◇定期予防接種(MRワクチン等)を受けましょう。

第1期(1歳の間)、第2期(小学校就学前の1年)の2回接種が必要です。母子手帳などを確認し、り患歴やワクチン接種歴を確認しましょう！

◇麻しんの免疫を持っているか知りましょう。

麻しんにかかったことがない方や麻しんワクチン接種をしていない方、接種が1回だけの方(30歳代半ば～50歳代前半)は、十分な免疫を獲得していない可能性があるため注意が必要です。

<相談・問い合わせ先> 相模原市保健所疾病対策課 042-769-7201